

INFORMATION

盂蘭盆会(うらぼんえ)

8月13日～16日(20日)

盂蘭盆会とはお盆のお参りのことです。仙台では8月盆、七夕祭り後の8月13日から16日までの間をお盆の期間としています。お子さんが帰省したりご親戚が集まったりして、ご縁のある方とお墓参りをして先祖を偲び自分のルーツを見つめる大切な時間です。真宗門徒にとって「お盆」とは亡き人から案じられている我が身であったことに目覚め、改めて人間として賜った命や生きる意味を問う「聞法の機縁」だと言われます。

お盆の法要をご希望の方はお早めにご予約ください。

You must be the change you want to see
in the world

あなたが
この世で
見たいと願う
変化に
あなた自身が
なりなさい

マハトマ・ガンディー

今月のことば

インド出身の宗教家、マハトマ・ガンディーの言葉です。

私の周りや外側を変えようとしても世界はなかなか変化しないけれど、もしかしたら私自身が変わっていくことが周囲や世界を変えていくのかもしれない。

住職法話 「関係性を生きる」

『阿弥陀経』には、一つの体に二つの頭を持つ鳥が登場します。その鳥は相手がいることで自分が不自由で思うように生きられないと考え、相手に毒を用いますが、同じ毒が自分にもまわって死んでしまいます。これは関係存在でありながら、相手のことだけを变えようとしたら、遠ざけようとする私たちの姿を教えているように思います。本当は誰もがいきいきと生きたいと願っている。そしてその願いには「ともに生きる」という大きな課題があるのです。

前住職法話 「供養とは」

供養の本来の意味は、供々仏意に仕える。亡き方を仏さまとして受けとめることができるかどうかではないでしょうか。それは「私はこうして命終わっていきますが、あなたにも命終える時が必ずくるのですよ。そしてそれがいつになるかわからない、だから自分のいのちをどう生きるか仏さまの教えにたずねていってください」と、仏さまになって私に呼びかけてくださっている声に気づくということです。亡き人から案じられている我が身であったことに目覚め、「自分が自分であってよかったと思える人生を探し続けていってください」という呼びかけに応えて我が身を問いたずねていく。亡き方が光となって呼びかけてくださっているのです。

七月同朋会より

八月の同朋会はお休みです

おみがき 8月8日(木)

午前9時半から午後2時

お盆を前に本堂の仏具を磨きます。お弁当を用意しますのでお手伝いいただける方はお寺までご連絡ください

ほうもりのひとりごと

「すっごくステキでした。」
「いい時間を過ごせました。」
「来年も楽しみにしています。」所用で参加できなかった公開同朋会の感想をいろんなかたからいただきました。どのかたも嬉しそうにお話くださって音楽の素晴らしさを実感しました。